JOy of Music

平成31年度高等学校教科書 音楽Ⅲ

27 教芸 (平成31教 内容解説資料)

 	次
	~

Joy of Music について2	2
紙面構成2	2
表現(歌唱)	3

表現(器楽)4
表現(創作)4
準 賞5

年間指導計画例	6
検討の観点別に見た特色	8





Joy of Music について

平成31年度から使用されるJoy of Musicでは、全ての内容を徹底的に見直しています。新たに取り上げたピアノ調律師の仕事を紹介する口絵ではメッセージ性の強い紙面づくりを心がけ、何をどのようにしたいという意思のもとに行われる作業なのか、誰に喜んでもらうための仕事であるかといったことにも踏み込みました。それは、「音楽Ⅲ」を履修する生徒たちが、各々の進路に向き合う大切な時期にあるという実情を考慮してのことでもあります。卒業後も多様化する社会の中で音楽の授業によって培われた豊かな自己表現を発揮することができるよう、また日々の生活の中で音楽に接する時間をもって幸せに過ごせるよう願い、Joy of Musicはより深みのある教科書へと生まれ変わりました。



紙面構成

「MOUSA」と「高校生の音楽」それぞれの特徴を引き継ぎ、全体を大きく「表現」と「鑑賞」に分け、音楽IIIで想定されるさまざまな授業形態に対応できるよう使用の便宜を図っています。

教科書紙面の一例



- 「表現」教材で, 「発声」を学習する ページであることを掲示

楽譜とExerciseを見やすく分け、 なおかつ見開き紙面に収めること で効率のよい学習をサポート

(P.6·7)

(P.98.99)



「鑑賞」教材で、「西洋音楽」を学習 するページであることを掲示

鑑賞する際の着眼点や調べ学習を, 教材ごとに具体的に明示

- 関連する表現教材へのリンク



年間指導計画例(「主な教材」の中から、各学校や生徒の実態に合った楽曲を選択する)

芸術科 の目標 芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

内容

習

導

領

A 表 現 表現に関して、次の事項を指導する。

- (1) 歌唱
- ア 楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うこと。
- イ 様々な表現形態による歌唱の特徴を理解し、表現上の効果を生かして歌うこと。
- (2) 器楽
- ア 楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に演奏すること。
- イ 様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏すること。
- (3) 創作
- ア 様々な音素材の表現効果を生かした構成を工夫して、表現意図をもって個性豊かに音楽をつくること。

イ 様々な様式や演奏形態の特徴を理解し、表現意図をもって個性豊かに 音楽をつくること。

B鑑賞

鑑賞に関して、次の事項を指導する。

- ア 音楽の構造上の特徴と美しさとのかかわりを理解して鑑賞すること。
- イ 現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞すること。
- ウ 音楽と他の芸術や文化とのかかわりを理解して鑑賞すること。
- エ 生活及び社会における音楽や音楽にかかわる人々の役割を理解して鑑賞すること。

1		音楽をつくること。														
		ATT D (() =)					学習指導要領 内容の指導事項									
	月	領域(分野)/	題材名	題材のねらい		A表現 歌唱 器楽 創作				//c		B鑑	賞	音楽を	形づくっている	内容の取扱い
1		配当時間									ア	1 '	ウ エ	-	要素	(*は音楽I)
4 5 6 7		表現(歌唱)/6時間	表現のための技能を高めよう 〜発声練習やソルフェージュを 通して	発声練習やソルフェージュを通して歌唱の基礎的能力を高めるとともに、旋律を聴き取る能力、読譜の能力などを養い、楽曲を豊かに表現する力を培う。	_	-	-							音色,	リズム,速度, テクスチュア,	(1)
		表現(歌唱),鑑賞/6時間	表現意図をもって歌おう 〜歌曲を通して	楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌う。また、時代の異なる2つの歌曲の表現の特徴を理解し、それぞれのよさや美しさなどを味わって鑑賞する。	•	•					•				リズム, 速度, テクスチュア, 構成	(1) (3)* (6)*
		表現(歌唱)/ 4時間	表現意図をもって歌おう 〜ポップスを通して	楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌う。	•	•									リズム,速度, テクスチュア,	(1) (3)*
	·	表現(歌唱),鑑賞/6時間	表現上の効果を生かして歌おう ~アンサンブルを通して	様々な表現形態による楽曲の特徴を理解し、表現上の効果を生かして歌う。また、西洋の2つの合唱曲の表現の特徴を理解し、それぞれのよさや美しさなどを味わって鑑賞する。	•	•					•			旋律,	リズム, 速度, テクスチュア, 形式, 構成	(1) (3)* (6)*
		表現(歌唱), 鑑賞/4時間	ミュージカルに親しもう	音楽と他の芸術や文化とのかかわりを理解して鑑賞 するとともに、その中で歌われる楽曲の表現内容を 総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌う。	•	•					•	(• •		リズム,速度, テクスチュア,	(1) (3)* (8)*
	9 10 11 12	表現(器楽)/ 4時間	表現上の効果を生かして演奏しよう 〜アンサンブルを通して	様々な表現形態による楽曲の特徴を理解し、表現 上の効果を生かして演奏する。			•	•						旋律,	リズム, 速度, テクスチュア, 形式, 構成	(1) (3)* (8)*
		表現(歌唱,器楽)/4時間	表現意図をもって演奏しよう 〜和楽器を通して	楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に演奏する。	•	•	•	•						旋律,	リズム, 速度, テクスチュア, 形式, 構成	(1) (3)* (8)*
		表現(歌唱,器楽)/4時間	弾き歌いに挑戦 〜子どもの歌を通して	子どもの歌の表現内容を総合的に理解し、表現意 図をもって創造的に弾き歌いをする。	•	•	•	•							リズム, 速度, 強弱, 構成	(1) (3)* (8)*
		鑑賞/6時間	鑑賞力を伸ばそう 〜外国の様々な音楽を通して	音楽の構造上の特徴と美しさとのかかわりや,その音楽を生み出した文化的・歴史的背景を理解して 鑑賞するとともに,批評活動を通して主体的に鑑賞 活動を行う。							•	•	•	旋律,	リズム, 速度, テクスチュア, 形式, 構成	(1) (6)* (8)*
		鑑賞/4時間	日本の伝統音楽を味わおう	音楽と他の芸術や文化とのかかわりを理解して鑑賞する。							•	•	• •		リズム, 速度, テクスチュア, 構成	(1) (2) (6)* (8)*
		表現(創作)/6時間	表現意図をもって音楽をつくろう	様々な音素材の表現効果を生かした構成を工夫するとともに、演奏形態の特徴を理解して表現意図をもって個性豊かに音楽をつくる。					•	•				旋律,	リズム, 速度, テクスチュア, 形式, 構成	(1) (3)* (5)*
	1 2 3	表現(歌唱), 鑑賞/4時間	オペラ、オペレッタに親しもう	オペラ,オペレッタの特徴を理解するとともに、その中で歌われる楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌う。	•	•					•		•		リズム,速度, テクスチュア,	(1)
		表現(歌唱, 器楽, 創作)/ 12時間	3年間のまとめのコンサートを 開こう 〜よりよい表現を目指して	様々な表現形態による歌唱や器楽, 自ら創作した 作品の中から, 個人またはグループで楽曲を選択し, 表現意図をもって創造的に演奏発表する。	•	•	•	•	•	•				旋律,	リズム, 速度, テクスチュア, 形式, 構成	(1),(2) (3)* (5)* (8)*

科目の 目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

内容の取扱い

- (1) 生徒の特性, 地域や学校の実態を考慮し, 内容のAの(1), (2), (3)又はBのうち一つ以上を選択して扱うことができる。
- (2) 内容のA及びBの教材については、地域や学校の実態等を考慮し、我が国や郷土の伝統音楽を含めて扱うようにする。
- (3) 内容の取扱いに当たっては、「音楽I」の3の(3)、(5)、(6)及び(8)と同様に取り扱うものとする。

音楽Iの内容の取扱い

- (3) 内容のAの指導に当たっては、生徒の特性等を考慮し、視唱と視奏及び読譜と記譜の指導を含めるものとする。
- (5) 内容のAの(3)の指導に当たっては、即興的に音を出しながら音のつながり方を 試すなど、音を音楽へと構成することを重視するとともに、作品を記録する方法を 工夫させるものとする。
- (6) 内容のBの指導に当たっては、楽曲や演奏について根拠をもって批評する活動などを取り入れるようにする。
- (8) 音や音楽と生活や社会とのかかわりを考えさせ、音環境への関心を高めるよう 配慮するものとする。また、音楽に関する知的財産権などについて配慮し、著作 物等を尊重する態度の形成を図るようにする。

→ +\ ±4.++	題材の指導内容と学習活動						
主な教材	主な指導内容	主な学習活動					
《50の小ソルフェージュ集》第1番/ 女王のエチュード/発声練習/ ソルフェージュ	・姿勢や身体の使い方、呼吸法、発声法など・旋律の聴き取り、読譜、視唱など	 ・姿勢や身体の使い方、呼吸法、発声法などに気を付けて、それらをレガートやスタッカートなどの音楽表現に結び付けながら歌う ・旋律の聴き取り、読譜、視唱などの練習を通して、楽曲を豊かに表現するための技能を身に付ける 					
かやの木山の/初恋/たあんき ぽーんき /霧と話した/三月のうた/ロマンチスト の豚/ Sento nel core / Vaghissima sembianza / An Silvia / Sonntag(以 上,歌唱) リート《魔王》/連作歌曲《月に憑かれたピ エロ》(以上,鑑賞)	 ・曲想と歌詞の内容とのかかわり ・独唱にふさわしい表現方法 ・歌と伴奏それぞれの役割 ・音楽の構造上の特徴とよさや美しさなどとのかかわり 	 ・曲想と歌詞の内容がどのようにかかわっているかを理解して歌う ・独唱にふさわしい発声を生かし、表現意図をもって創造的に歌う ・歌と伴奏それぞれの役割をよく理解して表現に生かす ・音楽の構造上の特徴とよさや美しさなどとのかかわりについて、意見交換をする 					
時代/春よ、来い/ Stand Alone / I Need To Be In Love / We Are The Champions	・曲想と歌詞の内容とのかかわり・音色、リズム、旋律、強弱など、音楽を形づくっている要素と それらの働き	・曲想と歌詞の内容がどのようにかかわっているかを理解して歌う・音色、リズム、旋律、強弱など、音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解し、表現を工夫して歌う					
WINDING ROAD /ほたるこい/ 宇宙戦艦ヤマト/ You Raise Me Up / Annie Laurie / Land Of Hope And Glory(以上, 歌唱) モテット《アヴェ・マリア》/オラトリオ《メサ イア》から〈ハレルヤ〉(以上,鑑賞)	・各パートの役割や音の重なり方、全体の調和・音楽の構造上の特徴とよさや美しさなどとのかかわり	 各パートの役割や全体の響きについて一人一人が主体的に考え、音色、フレーズ、強弱などを工夫してアンサンブルをする 音楽の構造上の特徴とよさや美しさなどとのかかわりについて、意見交換をする 					
All I Ask of You / The Point of No Return(以上,歌唱) ミュージカル《オペラ座の怪人》(鑑賞)	総合的な芸術表現における音楽的な要素とそれ以外の要素とのかかわり場面の状況や登場人物の心情と、音楽表現などとのかかわり	・音楽的な要素とそれ以外の要素がどのようにかかわり合って、総合的な芸術表現が形づくられているかを理解する・場面の状況や登場人物の心情を理解し、表現意図をもって創造的に歌う					
ピンク・パンサーのテーマ/ミッション:インポッシブルのテーマ/G線上のアリア/間奏曲/Now,ONow,I Needs Must Part/《3つのジムノペディ》第1番	・各パートの役割や音の重なり方、全体の調和・楽曲にふさわしい表現方法	 各パートの役割や全体の響きについて一人一人が主体的に考え、音色、フレーズ、強弱などを工夫してアンサンブルをする 楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果を生かして演奏する 					
島人ぬ宝(歌唱, 器楽) 日本のわらべうたつづり/長東祭太鼓(以 上, 器楽)	・和楽器の音色や奏法の特徴・曲種に応じた発声を生かした表現方法	・和楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解して演奏する・曲種に応じた発声を生かし、表現意図をもって創造的に弾き歌いをする					
鳩/小ぎつね/大きなくりの木の下で/ どんぐりころころ/とんぼのめがね/にじ	・弾き歌いをしながら人に聴かせたり、いっしょに歌ったりする場合の表現の工夫・歌と伴奏それぞれの役割	・弾き歌いをしながら人に聴かせたり、いっしょに歌ったりする場合の表現を工夫する・歌と伴奏それぞれの役割をよく理解して表現に生かす					
西洋音楽(教科書掲載曲)/ 世界の諸民族の音楽(教科書掲載曲)	・音楽の構造上の特徴とよさや美しさなどとのかかわり・楽曲の文化的・歴史的背景,作曲者による表現の特徴,それぞれの音楽を育んできた人々や地域の特徴・生活や社会における音楽の役割	 ・音楽の構造上の特徴とよさや美しさなどとのかかわりを理解する ・楽曲の文化的・歴史的背景、作曲者による表現の特徴、それぞれの音楽を育んできた人々や地域の特徴を理解する ・音楽と生活や社会とのかかわりについて理解する ・鑑賞した楽曲について、自分なりの言葉や文章で批評活動をする 					
《俊寛》~能,文楽,歌舞伎	・我が国の伝統音楽における曲種の違いによる表現の特徴・音楽と他の芸術や文化とのかかわり・生活や社会における音楽の役割	 同じ題材で異なる曲種の伝統音楽を比較鑑賞し、それぞれの特徴を理解する それぞれの音楽が育まれてきた時代や地域における様々な文化とのかかわり、音楽と生活や社会とのかかわりについて理解する 鑑賞した楽曲について、自分なりの言葉や文章で批評活動をする 					
体を使った音でストーリーを表現しよう/ ファンファーレをつくろう	・自分たちのイメージに基づきながら、様々な音素材の特徴を音楽表現に結び付ける工夫・演奏形態の特徴を生かした表現方法	・様々な音素材や演奏形態の特徴,音楽を形づくっている要素などを理解して,表現意図をもって個性豊かに音楽をつくる					
Vissi d'arte, vissi d'amore /メリー・ ウィドウ・ワルツ(以上, 歌唱) 任意のオペラ, オペレッタ(以上, 鑑賞)	場面の状況や登場人物の心情と、音楽表現などとのかかわり総合的な芸術表現における音楽的な要素とそれ以外の要素とのかかわり	場面の状況や登場人物の心情を理解し、表現意図をもって創造的に歌う音楽的な要素とそれ以外の要素がどのようにかかわり合って、総合的な芸術表現が形づくられているかを理解する					
音楽 I・II・IIIの教科書掲載曲 個人またはグループで創作した作品	・楽曲の表現内容の総合的な理解・楽曲にふさわしい表現方法	・楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現上の効果を生かしながら表現意図を もって創造的に演奏する・他の人やグループの演奏を鑑賞し、今後の音楽表現に生かす					

検討の観点別に見た特色

	観点	教科書の特色
範囲	●取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	●多様なジャンルから精選された教材によって必要な内容が十分に扱われており、音楽科の目標を達成する という観点から極めて適切なものとなっている。
程度	●教材は生徒の心身の発達段階や生徒 の能力の実態に適応しているか。	●歌唱教材においては、生徒の心情的な発達段階に応じた楽曲が取り上げられている。器楽教材においては、 各学校の実態や生徒の習熟度に応じた楽曲が取り上げられている。また、鑑賞教材についても同様の扱いがなされている。
	●「音楽を形づくっている要素」が学習を 進めるうえで適切に扱われているか。	●表現及び鑑賞に共通する指導内容として「音楽を形づくっている要素」に関する学習が示されており、その 考え方を具体的に取り入れた「音楽の要素とイメージをつなげよう」が掲載されている。
	●教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。●基礎的・基本的な内容を学習するうえで適切であるか。	 ■幅広く変化に富んだ学習活動を行うことのできる教材が用意されており、生徒が興味・関心をもって意欲的に学習を進めることができるよう配慮されている。 ●教材の内容に関連して、基礎的・基本的な内容を学習できる参考資料が掲載されている。また、ページ間にリンクが張られており、確実に学習活動を進められるよう配慮されている。 ●楽曲中の音楽用語の意味やリコーダーの派生音の運指が同一ページに表示されており、学習効率が上が
内容	●説明文やイラスト,写真などは,学習 を進めるうえで適切であるか。	るよう工夫されている。 ●説明文は平易な文章で書かれており、その配置も工夫されている。●イラスト、写真の取り上げ方もアイディアにあふれ、音楽的感性を育成しながら知的理解を深められるよう配慮されている。
	●生徒が興味・関心をもって、主体的・創造的な学習活動に取り組めるよう工夫されているか。●我が国の音楽や音楽文化に対する配慮がなされているか。	 ●生徒が自ら主体的に学習活動を進められるように、メッセージ性の強いコラムや参考資料が豊富に掲載されている。また、鑑賞のポイントには調べ学習なども含まれている。 ●創作の活動においては、生徒の能力に応じて創造的に進められるよう配慮されている。 ●鑑賞の活動においては、日本独自の文化の中で育まれてきた音楽の特徴を感じ取ることができるよう配慮されている。器楽の活動においては、各学校の実態に応じて取り組めるよう4種類の和楽器が取り上げられている。また、音楽的側面からだけではなく、文化的側面からも捉えられるよう配慮されている。
構成	●音楽I・IIにおける学習内容との系統性、 一貫性について配慮されているか。●各学校や生徒の実態に応じた学習指導 計画を立てられるよう配慮されているか。	 ●高等学校の最終段階における音楽Ⅲの目標にのっとった内容の教科書となっている。 ●日本の歌曲や子どもの歌が多く掲載されており、世代を超えて親しみ歌い継いでいくという趣旨を生かした学習が音楽 I・II から一貫して行われるよう配慮されている。 ●目次に各教材の分野・内容が示されており、各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てられるよう配慮されている。 ●志思教社の発酵を持ちる関東に図えれている。
PX.	●教材の配列は適切であるか。	●表現教材と鑑賞教材の関連が図られており、分野を通じた題材設定がしやすいよう配慮されている。●学習指導要領の内容に即した教材が配列されている。●表現教材と鑑賞教材の関連が図られており、さらにページ間に張られたリンクによって、理解を深めたり関連付けたりできるよう随所に工夫がなされている。
	●教材の分量は適切であるか。	●豊富な分量が扱われており、各学校や生徒の実態に応じて柔軟な対応ができるよう配慮されている。
人権	●人権教育, 国際理解, 情報, 環境などに対する配慮がなされているか。	●全体を通して、人権教育に対する適切な配慮がなされている。また、諸外国の文化に対する理解を深めることができるという点についても配慮がなされている。●音楽に関する知的財産権について学習する「ルールを守って音楽を楽しもう」が掲載されており、生徒にとって分かりやすく説明されている。
体裁	●全体の体裁は教科書として適切であるか。●印刷,製本などは適切であるか。●ユニバーサルデザインへの配慮がなさ	● A4変型判で楽譜が見やすく、紙面のレイアウトも統一感があり、教科書として適切なものとなっている。 ● 表紙からも音楽に対するメッセージが感じられる体裁となっている。 ● 全ページにわたって美しいカラー刷りとなっており、楽譜、文字、イラスト、写真などが鮮明に印刷されている。 ● 製本は長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。 ● 再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境に十分な配慮がなされている。
	れているか。	●全体に区別しやすい配色を用いながら必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。

第1表

高等学校用教科書需要票

発行者	番	27	略	教芸	需要	生徒用	50	₩
者	号	21	称	秋 云		教員用	2	₩
教	記	番			3773 (1713			
科	号	音Ⅲ	号	305	数	計	52	₩
書	書名	Joy of	f Mu	ısic				

所在地 学校名

電話

(全日制・定時制・通信制)

見本

株式会社 教育芸術社

社 〒171-0051 東京都豊島区長崎1-12-15 TEL.03-3957-1175(代)

●中部支社 〒460-0024 名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル8F TEL.052-678-3151(代)

●関西支社 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央 1-14-17-601 TEL.06-6943-7245(代)

●西部支社 〒751-0808 下関市一の宮本町2-7-14 TEL.083-256-4747(代)

ホームページ http://www.kyogei.co.jp/